

第72回岩手県高等学校総合体育大会

(17) 軟式野球

1 期 日

- 競技【1部】令和2年5月30日(土)、31日(日)、6月2日(火) ※雨天順延
【2部】令和2年5月30日(土)
表彰式【1部】令和2年6月2日(火) 競技終了後
【2部】令和2年6月2日(火) ”

2 会 場 紫波球場

3 競技種別 1・2部制

4 競技規則 本大会は当該年度公認野球規則を適用する。

5 競技方法

- (1) トーナメント法による。
- (2) コールドゲームの成立は次の場合とする。
【1部】①点差による場合 5回10点、7回7点 ②降雨などの場合 7回完了もしくは7回表終了
【2部】①点差による場合 5回15点、7回10点 ②降雨などの場合 7回完了もしくは7回表終了
なお、決勝戦にはコールドゲームを適用しない。
- (3) サスペンデッドゲーム(一時試合停止、継続試合)は適用しない。
- (4) 試合が延長12回で決まらない場合は、高校野球特別規則の22. タイブレイク制度を13回より実施する。
- (5) 決勝戦はタイブレイク制度を適用しない。延長戦は15回で打ちきる。この場合は翌日以降に再試合を行う。
- (6) 試合成立前や延長回などで勝敗を決する前に降雨や暗黒などでやむを得ず試合を打ち切った場合も再試合を行う。再試合は原則として翌日の第1試合に行う。
- (7) ダブルヘッダーは行わない。

6 参加資格

岩手県高等学校野球連盟の当該年度大会参加資格証明書で承認、記載された者。

7 参加制限

- 【1部】選手20名以内、責任教員1名、監督1名、記録員1名の計23名まで
【2部】選手15名以内の合計18名まで

8 抽選会

- (1) 期 日 5月13日(水) 14時00分
(2) 場 所 盛岡商業高等学校 会議室2

9 参加申込 岩手県高野連選手資格証明書を下記の2カ所へ、文書形式と電子ファイル形式で提出すること。

(公印と学校医印を押印した正式な文書を高野連事務局と軟式野球専門部事務局に提出。

また、エクセルファイルもメールに添付して高野連事務局と軟式野球専門部事務局に送信。)

①〒020-0841 盛岡市羽場18-11-1 盛岡工業高校内 高野連事務局事務局長宛

提出先 E-mail i-mail@iwate-koyaren.com (事務局長宛)

②〒020-0866 盛岡市本宮2-35-1 盛岡商業高校内 高野連軟式野球専門部事務局委員長宛

提出先 E-mail ptf60-shuji-s@iwate-ed.jp (専門委員長宛)

締 切 〆切は5月7日(木)12時必着(※押印した資格証明書は、抽選会当日の持参可)

※岩手県高野連様式の参加資格証明書の提出を持って申し込みとする。

10 連絡責任者

佐藤修司(盛岡商業高等学校) Tel 019-636-1026

〒020-0866 盛岡市本宮2丁目35-1

11 その他

(1) 服装等について

- ①選手：背番号をつけたユニフォーム
- ②責任教師：平服（ワイシャツ）または高野連スタッフシャツ
- ③監督：選手と同じユニフォーム、スパイク（黒アップシューズ可）

(2) ベンチサイドは組み合わせ番号の小さい方を1塁側とする。

(3) 本大会の使用球は、全日本軟式野球連盟公認のM号球とする。

(4) 審判委員に対するアピールは規則適用上の疑問を質すときのみであって、主将、伝令、または問題の当事者に限る。審判委員の判定には絶対に従い、抗議することはできない。

(5) メンバー交換後は一時的交替を認めない。ただし、試合中選手に不慮の障害などが起き、一時走者を代えないと試合が続行できないと審判委員が認めたときは、臨時の代走者を出すことができる。代走者は試合に出場している選手に限られるが、投手を除いた選手のうち、直前に打撃を終了したものとする。

(6) 試合中に紛争が起これ、試合の続行が不可能になったときは、紛争を起こした側（応援者を含む）が責任を負い、そのチームを敗者とする。

(7) ベンチに持ち込むメガホンは監督指示用の1本とする。

(8) 金属製バットの使用は日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で認可したものに限り、使用野球用具は日本高等学校野球連盟が定めた「高校野球用具の使用制限」で規制したものに限り、

(9) 大会前または大会中の負傷で試合出場が不可能になった選手は、試合には出場しない条件でベンチに入ることを認める。その場合、どの程度参加するかについて試合前に大会本部に申し出て許可を得ること。

(10) ランナーコーチおよびバットボーイはヘルメット着用のこと。

(11) シートノックについて

①7分以内で行うが、試合進行の都合で省略することがある。

②ノッカーを1名（ユニフォーム、スパイク着用）、練習補助員3名（男子に限り、ユニフォーム、トレーニングシューズ、ヘルメット着用）を加えても良い。

③選手が20人未満のチームは記録員がノック補助を行うことができるが、その場合はヘルメットを着用し、女子の記録員の服装は運動着とする。

（オーダー表に記入した記録員のみがノック補助を行うことができる）

④ノックができるのはベンチ入り登録者およびノッカー登録者1名のうち2名以内とする。芝の上でのノックやトスバッティングなどの打撃行為は禁止する。

⑤背番号を付けた選手でもフィールドイング練習に加わらず、練習の補助をする選手はヘルメットを着用すること。

⑥相手チームのシートノック時に用具点検をするので協力すること。